

「夏休み中にお母さんの仕事場でボランティアをしてみない？」
夏休み前にお母さんが提案してくれて、わたしは、かいご士のボランティア活動をすることにしました。

『しあわせ通らぶ』というデイサービスで、私のボランティア活動が始まりました。朝、

「おはようございます。」

と元気よくあいさつをして、一日が始まります。デイサービスに来られた方々を本人の席へ連れて行って飲み物を出したり、トイレから帰って来た方の車イスをおしたり、かいご士さんが割った血あつをメモに書いたりしていきます。他にも、みなさんとお話したり、リハビリをしている方に、

「がんばってください。」

と声をかけていったりしました。リハビリの訓練が終わった後、チーフが

「かなちゃん。おばあさんといっしょにゴーヤを切ってください。」
と言って、エプロンをつけてくれました。私はボールとスプーンを準備して、おばあさんが切ったゴーヤの綿と種をスプーンで取りま

した。その時、

「手を切らないように気をつけてね。」

とおばあさんに言うと、

「大丈夫だよ。」

と言ってニコッと笑ってくれました。こんな風にお話しながら料理をするのは、とても楽しかったです。

お昼ご飯の時間になりました。自分で食べられる方とそうでない方がいるので、自分で食べられない方にはかいご士さんがついて、食べさせていました。気をつけないといけないことは、きちんと飲みこんだか確認すること、ゆっくりとペースに合わせてかい助することでした。

ご飯の後は、歯みがきとトイレです。それから体そうをしていきます。体そうが終わるとベットポトルに和紙をはり付けて遊んだりもしました。とても楽しかったです。

そして、みなさんが帰る時間になるとお見送りで、

「さようなら。」

とあいさつをしながら、「また元気に来てください」という気持ちでした。

みなさんが帰った後に次の日の準備をして、片付けをしたら一日の終わりです。お話をしたり遊んだり、いっしょに料理をしたりする楽しい時間もありましたが、かい助をする時に気をつけないといけないことも多く、私はこの仕事は大変だと思いました。それでも、呼ばれたらすぐにかけつたりお話を聞いたりしているお母さんたちを見て、「すごいなあ」と思いました。

かいごの仕事は大変なこともあるけれど、人と関わり合えるやりがいのある仕事だと感じました。

言われて始めたボランティア活動でしたが、私はこの夏、とても良い経験ができました。次は自分からチャレンジしてみたいです。